

授業科目名：コミュニケーションⅠ		クラス：F1A、B1A、B1B、B1C、B1D（合同）	
担当：袴田			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ 多様化が進む中、他者との関わり方の難しさが世界の至る所でさまざまな形で表れている。日本にいる留学生も同様、共生社会を目指す際、日本文化のみならず違う国の文化にも注目し配慮する必要があることを自覚していく必要がある。同時に、自分の文化を客観視する姿勢も養ってほしい。			
≪到達目標（1年間）≫ ただ言葉のやりとりだけをコミュニケーションと呼ぶのではなく、表情やちょっとしたしぐさなど自分では気づかないうちにネガティブな情報として相手に伝わる場合があることに気づき、コミュニケーションのメカニズムを客観的に捉えることにより、コミュニケーションと人間関係の関連について考える習慣となることを期待する。			
≪授業の進め方と方法≫ タスクや視覚教材を多用し、グループディスカッションを重視したい。自分の思い込みや誤解に気づき、冷静に受け止め、新たにどうあるべきかを探る活動を繰り返すことによって、相手を受け止める力、自分を客観視する力をみがく授業を作っていきたい。			
≪授業計画≫ ①学生たちの自己紹介、「コミュニケーションとは？」/ 授業の概要と目的について説明 ②第一回「コミュニケーションとは？」/ エンパシーの重要性 ③第二回「文化への理解」（1）見える文化&見えない文化、自分の常識と非常識 ④第二回「文化への理解」（2）トータルカルチャー&サブカルチャー、多文化ダイアグラム作成/ 課題Ⅰ ⑤第三回「文化の違いに気づく」（1）発想の転換 ⑥第三回「文化の違いに気づく」（2）視覚、環境により起こる錯覚 ⑦復習&第一回理解度テスト ⑧第四回「異文化の認識」思い込み、固定観念 ⑨第四回「異文化の認識」ステレオタイプ/ 課題Ⅱ ⑩第五回「世界の価値観」個人主義&集団主義、高文脈文化&低文脈文化 ⑪第五回「世界の価値観」ポリクロニック&モノクロニック、性善説&性悪説/ 課題Ⅲ ⑫第六回「非言語コミュニケーション」非言語コミュニケーションの重要性と種類 ⑬第七回「アサーティブ・コミュニケーション」/ 課題Ⅳ ⑭復習&第二回理解度テスト ⑮ビデオ視聴➡より良いコミュニケーションには何が必要か、自分の気づきなど意見発表			
≪教科書≫ コミュニケーション関連の文献を参考に作成した自作教材（学生の日本語力に見合った教材づくりをしている）			
≪評価の方法≫ 学期内二回実施する理解度テストの結果と授業内の発言、課題の取り組みなどを総括的に評価する			
≪備考≫			

授業科目名：コミュニケーションⅡ		クラス：F2A、B2A、B2B、B2C、B2D		
担当：小林蓮佳				
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：15	単位数：1	
授業科目内容				
≪授業の概要と目的≫ 相手の話を上手に聞くトレーニングから、自分の意見を相手に伝えるトレーニングを通して人に話を聞いてもらう、伝える力を伸ばす。				
≪到達目標（1年間）≫ 他人と話をするとき、少し聞く、伝えるのを意識するようになる。				
≪授業の進め方と方法≫ 1コマ或いは2コマで完結できるワークシートを活用して、授業を進めていく。				
≪授業計画≫ ① 授業の進め方、授業の意義について説明 ②～⑤ 聴くためのトレーニング ⑥～⑩ 伝えるトレーニング ⑪～⑮ 発表の準備を含む一人一人の発表				
≪教科書≫ 複数の参考書から学習者に適したトピックと選び、資料を作成して配布 参考書例：小林 昭文『担任ができるコミュニケーション教育』2004年初版				
≪評価の方法≫ 講師評価100%（出席、授業態度、発表などによる総合評価）				
≪備考≫ 				

授業科目名：社会・経済論		クラス：B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：時安			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》 <p style="text-align: center;">社会人として求められる社会・経済についての基礎知識を身につける</p>			
《到達目標（1年間）》 <p style="text-align: center;">現在の日本社会の諸問題とビジネス経済について考察し理解を深める</p>			
《授業の進め方と方法》 <p style="text-align: center;">プリントに記入しながら基礎事項を確認し、自分の考えをまとめる</p>			
《授業計画》 第1課 日本の社会問題 第2課 経済感覚診断 第3課 日本の労働環境 さまざまな働き方 第4課 日本の税と社会保障 第5課 産業の種類 企業の種類 第6課 企業のビジネスモデル 垂直統合と水平分業 第7課 アマゾン・コムの事例 第8課 プラットフォーム ビジネス 第9課 Airbnbの事例 第10課 製造小売SPA 第11課 フランチャイズ チェーン 第12課 シェアリング エコノミー 第13課 日本の商慣行と顧客ロックイン 第14課 行動経済学 第15課 まとめ			
《教科書》 <p style="text-align: center;">ビジネスモデル（SBクリエイティブ）</p>			
《評価の方法》 <p style="text-align: center;">プリント作成・意見発表・出席率</p>			
《備考》 <p style="text-align: center;">授業の状況により取り上げる内容が多少変更する可能性があります</p>			

授業科目名：異文化理解		クラス：F2A、B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：外部講師、袴田			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
<p>≪授業の概要と目的≫</p> <p>昨年始めた授業だが、さまざまな文化背景を持った講師のお話を聞くことによって、学生たちの考え方に刺激やインスピレーションを与えたり、将来への可能性を示唆したりすることにつながることを期待している。</p>			
<p>≪到達目標（1年間）≫</p> <p>グローバル化が進んでいる昨今でも、依然と同じ価値観や文化の中で生きている我々であり、この当たり前が決して普遍的なものでも絶対的なものでもないことを知り、視野を広げ自分の生き方への取り組みが良い方向へと高まっていくことにつながるよう願っている。</p>			
<p>≪授業の進め方と方法≫</p> <p>講師がそれぞれ作成するPWPやプリントを教材とする。学生の中には座学が弱い者、日本語力が高くない者などいるため、視覚に訴える教材を使ったりグループワークやQ&Aやゲームなどを取り入れてくださるようお願いしている。</p>			
<p>第一回 袴田・・・初回のため、授業内容、意義、進め方や評価について説明する。/ アイヌ文化</p> <p>第二回 袴田・・・イスラム教についてバングラデッシュの文化と日本留学からの歩みと学生へのアドバイス</p> <p>第三回 郭哲怜さん・・・台湾文化と台湾の若者の関心事について</p> <p>第四回 デイルシャニさん・・・スリランカ文化と就職するまでの苦労と教訓</p> <p>第五回 鎌田ロレーナ氏・・・南アメリカの文化とペルーの生活</p> <p>第六回 鎌田ロレーナ氏・・・移民政策とアイデンティティ</p> <p>第七回 ジャフェット氏・・・Bhinneka Tunggal Ikaと多様性</p> <p>第八回 寺内恭子さん・・・アフリカの国々とケニア文化</p> <p>第九回 寺内恭子さん・・・イギリスとはどこのこと？島国イギリスと日本の違いとは？</p> <p>第十回 田中もえ子先生・・・カザフスタンと中央アジア文化</p> <p>第十一回 ニアズ・アハマド氏・・・バングラデッシュの文化と日本留学からの学び</p> <p>第十二回 島田恵人氏・・・「僕の経験」（世界を回った経験とアメリカでの仕事経験）</p> <p>第十三回 塚原有香氏・・・ミャンマー留学生としての経験とその後の帰化</p> <p>第十四回 オマール氏・・・マリ共和国の文化と日本での就職</p> <p>第十五回 ベトナム人学生と「生春巻きを作って食べてベトナムを感じよう！」</p>			
<p>≪教科書≫</p> <p style="text-align: center;">各講師作成のPWPやプリントを使用する。</p>			
<p>≪評価の方法≫</p> <p>授業の最後に、この授業担当者が用意した「振り返りシート」記入の時間を用意してあり、その提出によって成績付け、評価の材料とする。</p>			
<p>≪備考≫</p>			

授業科目名：地域産業論		クラス：F2A	
担当：田中			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
<p>私たちの生活と地域とのかかわりについて、主に静岡市、静岡県の事例を中心に紹介しつつ、そこにおける問題や課題について外国人としての視点、外国人とかかわる日本人としての視点などから考察する。</p>			
《到達目標（1年間）》			
<p>地域社会を取り巻く現状を理解し、地域社会を形成する地域産業のあり方や課題について考察する。</p>			
《授業の進め方と方法》			
<p>講義に加え、調査、発表、また地域とつながるフィールドワークなども行う予定である。</p>			
《授業計画》			
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、私たちの生活と地域とのかかわりについて 2. 土地の利用、農業立地 3. 工業立地と労働、輸送、集積① 4. 工業立地と労働、輸送、集積② 5. イノベーションと地域産業① 6. イノベーションと地域産業② 7. 店舗立地 8. 商業集積とまちづくり 9. 都市と環境問題、防災 10. 地域と観光産業 11. テスト 12. 調査、発表準備 13. 発表準備 14. 発表 15. まとめ 			
《教科書》			
<p>参考：BASIS地域産業論-産業の立地と集積-</p>			
《評価の方法》			
<p>出席、課題、参加度等で総合的に評価する。</p>			
《備考》			

授業科目名：パソコンリテラシー		クラス：F1A	
担当：高木			
年次：1	期間：2学期間	総時間数：120	単位数：8
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ Wordの最新版の技術習得と実践			
≪到達目標（1年間）≫ Wordの基本技術の習得と概念の理解			
≪授業の進め方と方法≫ プロジェクターを使用して講義を行い、実習による習得			
≪授業計画≫ 1 w Wordとは何か 2 w Wordの保存やセル等の基本 3 w 表操作等 4 w タイピング練習Ⅰ 5 w タイピング練習Ⅱ 6 w レイアウト 7 w 参考資料 8 w 差込資料・校閲 9 w 描画・デザイン 10 w データと校閲と表示 11 w 演習Ⅰ 12 w 演習Ⅱ 13 w 演習Ⅲ 14 w 演習Ⅳ 15 w 試験			
≪教科書≫ なし（随時プリントを配布する）			
≪評価の方法≫ 参加度50%、課題点50%			
≪備考≫ 習熟度によって内容は変更する場合がある			

授業科目名：オフィスIT技術		クラス：F1A	
担当：高木			
年次： 1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
Excelの最新版の技術習得と実践			
≪到達目標（1年間）≫			
Excelの基本技術の習得と概念の理解			
≪授業の進め方と方法≫			
プロジェクターを使用して講義を行い、実習による習得			
≪授業計画≫			
1 w Excelとは何か			
2 w Excelの保存やセル等の基本			
3 w 表操作等			
4 w グラフⅠ			
5 w グラフⅡ			
6 w 数式Ⅰ			
7 w 数式Ⅱ			
8 w 数式Ⅲ			
≪教科書≫			
≪評価の方法≫			
参加度50%、課題点50%			
≪備考≫			

授業科目名：オフィスIT技術		クラス：F2A	
担当：高木			
年次： 2	期間：通年	総時間数：150	単位数：10
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ Excelの最新版の技術習得と実践			
≪到達目標（1年間）≫ 日商PC検定データ活用3級レベルに到達する			
≪授業の進め方と方法≫ プロジェクターを使用して講義を行い、実習による習得			
≪授業計画≫ 1 w Excelとは何か 2 w Excelの保存やセル等の基本 3 w 表操作等 4 w グラフⅠ 5 w グラフⅡ 6 w 数式Ⅰ 7 w 数式Ⅱ 8 w 数式Ⅲ 9 w 数式Ⅳ 10 w データと校閲と表示 11 w 演習Ⅰ 12 w 演習Ⅱ 13 w 演習Ⅲ 14 w 演習Ⅳ 15 w 試験			
≪教科書≫ 『日商PC検定データ活用3級』技術評論社			
≪評価の方法≫ 参加度50%、課題点50%			
≪備考≫ 			

授業科目名：プレゼンテーション技術		クラス：F1A、B1A、B1B、B1C、B1D	
担当：高木、杉山、平澤			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ <p>プレゼンテーション技術のさらなる習得を目的とする。 具体例を使用しながら発表と講義を織り交ぜた形式で説明する。</p>			
≪到達目標（1年間）≫ <p>Powerpointの基本技術の習得と発表との融合</p>			
≪授業の進め方と方法≫ <p>Powerpointの講義と実習を行い、数回の口頭発表を行う</p>			
≪授業計画≫ <p>1 w Powerpointとは何かw 2 w 挿入や図形とアニメーションⅠ 3 w 挿入や図形とアニメーションⅡ 4 w 挿入や図形とアニメーションⅢ 5 w 制作発表1 6 w 画面切り替えや動画や各機能Ⅰ 7 w 画面切り替えや動画や各機能Ⅱ 8 w 画面切り替えや動画や各機能Ⅲ 9 w 画面切り替えや動画や各機能Ⅳ 10 w 制作発表2 11 w 口頭発表とPowerpointの融合Ⅰ 12 w 口頭発表とPowerpointの融合Ⅱ 13 w 口頭発表とPowerpointの融合Ⅲ 14 w 発表制作 15 w 制作発表</p>			
≪教科書≫ <p>なし</p>			
≪評価の方法≫ <p>参加度50%、課題点50%</p>			
≪備考≫			

授業科目名：プレゼンテーションⅡ		クラス：F2A	
担当：山内			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》 外国語での卒業前の発表にむけて、効果的な話し方などの表現方法を復習し、実践練習をする。			
《到達目標（1年間）》 まずは効果的なプレゼンテーションについて復習し、実際にプレゼンテーションを行うことで、身につける。			
《授業の進め方と方法》 課題を出し、繰り返しプレゼンテーションを行う。			
《授業計画》 1 オリエンテーション、効果的なプレゼンテーションとは？（復習）、自己紹介（1回） 2 課題1：自分の外国語学習歴と目標、現在の能力について（90分×3回） 3 課題2：私の好きな○○○（90分×3回） 4 課題3：文化紹介または旅情報（90分×3回） 5 課題4：翻訳と複数言語での発表（90分×5回）			
《教科書》 			
《評価の方法》 発表（70％）に出席率（30％）を加えて評価する			
《備考》 			

授業科目名：ビジネス英語（1年）		クラス：High	
担当：Y.ASSADY, C. CIACIRU, K.ROBERTS			
年次：1	期間：通年	総時間数：240	単位数：16
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
《到達目標（1年間）》			
<ul style="list-style-type: none"> ・CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。 			
《授業の進め方と方法》			
<p>担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○英会話： プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○4技能： テキストに沿ってビジネスで多用する用語やスキルの説明をした後、練習問題を行う。 			
《授業計画》			
<p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○文法： Tenses (Present, Past, Future) ○英会話： Meeting new colleagues, Everyday work activities, Business around the world, Asking questions at work, etc. ○4技能： Introducing yourself and others, Writing an e-mail, etc. <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○文法： Tenses (Present perfect, Past perfect), Asking Questions ○英会話： Choosing a job, Personal qualities, Describing your workplace and job, Workplace routines, etc. ○4技能： Talking about work and leisure, Writing an e-mail, etc. <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○文法： Nouns and pronouns, Modal auxiliaries ○英会話： Hobbies and habits, Dates and times, Carrer history, Company history, Talking about your plans, etc. ○4技能： Telephoning, Solving problems, Writing an e-mail, etc. 			
《教科書》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Market Leader Elementary (Pearson Longman)</i> 			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（1年）		クラス：High Inter.	
担当：Y.ASSADY, C. CIACIRU, 小林			
年次： 1	期間：通年	総時間数：240	単位数：16
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
≪到達目標（1年間）≫			
<ul style="list-style-type: none"> ・CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。 			
≪授業の進め方と方法≫			
<p>担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○英会話： プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○4技能： テキストに沿ってビジネスで多用する用語やスキルの説明をした後、練習問題を行う。 			
≪授業計画≫			
<p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Describing peoples, Calling reception, etc. ○文法： Tenses (Present, Past, Future) ○英会話： Meeting new colleagues, Everyday work activities, Business around the world Asking questions at work, etc. <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Airports, Shopping, At the restaurant, etc. ○文法： Tenses (Present perfect, Past perfect), Asking Questions ○英会話： Choosing a job, Personal qualities, Describing your workplace and job, Workplace routines, etc. <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Describing a town, Taking something back to a store, etc. ○文法： Nouns and pronouns, Modal auxiliaries ○英会話： Hobbies and habits, Dates and times, Carrer history, Company history, Talking about your plans, etc. 			
≪教科書≫			
<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>American English File Level 2 (Oxford University Press)</i> 			
≪評価の方法≫			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
≪備考≫			
≪授業の概要と目的≫の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（1年）		クラス：Inter.	
担当：Y.ASSADY、C.CIACIRU、柳瀬			
年次：1	期間：通年	総時間数：240	単位数：16
授業科目内容			
《 授業の概要と目的 》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外との仕事等において、ごく基本的な事柄に関しては、文やよく使われる表現を理解できる能力を育成する。 ・ 英文法を学習し、身近な日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる能力を育成する。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
《 到達目標（1年間） 》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ CEFRのA2または実用英語技能検定準2級相当の英語能力を身につける。 			
《 授業の進め方と方法 》			
<p>担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○ 4技能： プリントを用いて、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○ 英会話： テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、ディスカッションを交えながら進める。 ○ 検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《 授業計画 》			
<p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英会話： Animals, Food, Buildings, etc. ○ 文法： Present, Past, Present perfect ○ 検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英会話： Pets, eBooks, Festivals, etc. ○ 文法： Passive, Verb forms, Future ○ 検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英会話： Historical buildings, Laptop computers, Science, etc. ○ 文法： Modals, imperative, etc., There and it, Auxiliary verbs ○ 検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《 教科書 》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Reading Advantage Level 1 (Cengage Learning)</i> ☑ 			
《 評価の方法 》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《 備考 》			
《 授業の概要と目的 》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA2（基礎段階の言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（1年）		クラス：Pre Inter.	
担当：K.ROBERTS, 田中、柳瀬			
年次：1	期間：通年	総時間数：240	単位数：16
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
<ul style="list-style-type: none"> ・海外との仕事等において、ごく基本的な事柄に関しては、文やよく使われる表現を理解できる能力を育成する。 ・英文法を学習し、身近な日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
《到達目標（1年間）》			
<ul style="list-style-type: none"> ・CEFRのA2または実用英語技能検定準2級相当の英語能力を身につける。 			
《授業の進め方と方法》			
<p>担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○4技能： テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話： プリントを用いて、ペアワーク、グループワークによる、ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《授業計画》			
<p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Classroom language, Feelings, etc. ○文法： Present, Past, Present perfect ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Jobs, Family, Daily routine, etc. ○文法： Passive, Verb forms, Future ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： The weather and seasons, Music, etc. ○文法： Modals, imperative, etc., There and it, Auxiliary verbs ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《教科書》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Basic Grammar in Use</i> (Cambridge University Press) ・ <i>American English File Level 1</i> (Oxford University Press) 			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA2（基礎段階の言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（1年）		クラス:Elementary	
担当：K.ROBERTS、小林、田中、柳瀬			
年次： 1	期間：通年	総時間数：240	単位数：16
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
<ul style="list-style-type: none"> ・よく使われる日常的な表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、個人的な情報について簡単なやり取りをすることができる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
《到達目標（1年間）》			
<ul style="list-style-type: none"> ・CEFRのA1または実用英語技能検定3級相当の英語能力を身につける。 			
《授業の進め方と方法》			
<p>担当教員は文法・4技能・検定試験対策のどれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○4技能： テキストに沿ってペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《授業計画》			
<1学期> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Countries, Nationalities, Checking into a hotel, booking a table, etc. ○文法： Present, Past, Present perfect ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
<2学期> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： People and family, Understanding prices, buying lunch, etc. ○文法： Passive, Verb forms, Future ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
<3学期> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Jobs and places of work, Telling the time, saying how you feel, etc. ○文法： Modals, imperative, etc., There and it, Auxiliary verbs ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《教科書》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Basic Grammar in Use</i> (Cambridge University Press) ・ <i>American English File Starter</i> (Oxford University Press) 			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA1（基礎段階の言語使用者）レベルを参考			

授業科目名：ビジネス英語（2年）		クラス：High	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、K.ROBERTS			
年次：2	期間：通年	総時間数：195	単位数：13
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で技術的な議論ができ、複雑な文章の主要な内容を理解し、幅広い話題に関し明確な文章を作ることができる。 ・ 英文法を学習し、複雑な文章を正しく理解できる。さらに明確な英文を作成できる。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
≪到達目標（1年間）≫ <ul style="list-style-type: none"> ・ CEFRのB2または実用英語技能検定準1級相当の英語能力を身につける。 			
≪授業の進め方と方法≫ <p>各教官は以下のいずれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能: テキストに沿ってペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話: プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○プレゼンテーション: 基礎について講義形式で説明した後、演習形式の授業を行い、最終発表を評価する。 ○検定試験対策: 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
≪授業計画≫ <p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーション: パラグラフの構成 ○英会話: Giving opinions, Agreeing and disagreeing, Health and safety, Suggestions and advice, etc. ○4技能: Making bookings and checking arrangements, Writing an e-mail, etc. <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーション: 効果的な発表の仕方・パワーポイントの作成 ○英会話: Giving a presentation, Rules and requests, Work idioms, Discussing issues, etc. ○4技能: Making decisions, Writing an e-mail, etc. <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーション: 英語によるプレゼンまたはスピーチ発表 ○英会話: Apologies and explanations, Tasks and targets, Dealing with complaints, Transportation and travel, etc. ○4技能: Describing a product, Writing an e-mail, etc. 			
≪教科書≫ <ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Market Leader Elementary (Pearson Longman)</i> 			
≪評価の方法≫ <p>小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%</p>			
≪備考≫ <p>≪授業の概要と目的≫の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB2（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。</p>			

授業科目名：ビジネス英語（2年）		クラス：High Inter.	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、小林			
年次： 2	期間：通年	総時間数：195	単位数：13
授業科目内容			
《授業の概要と目的》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で技術的な議論ができ、複雑な文章の主要な内容を理解し、幅広い話題に関し明確な文章を作ることができる。 ・ 英文法を学習し、複雑な文章を正しく理解できる。さらに明確な英文を作成できる。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
《到達目標（1年間）》 <ul style="list-style-type: none"> ・ CEFRのB2または実用英語技能検定準1級相当の英語能力を身につける。 			
《授業の進め方と方法》 <p>各教官は以下のいずれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： テキストに沿ってペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話： プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○プレゼンテーション： 基礎について講義形式で説明した後、演習形式の授業を行い、最終発表を評価する。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《授業計画》 <p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Health and body, Going to a pharmacy, etc. ○プレゼンテーション： パラグラフの構成 ○英会話： Giving opinions, Agreeing and disagreeing, Health and safety, Suggestions and advice, etc. <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Directions, Asking how to get there, etc. ○プレゼンテーション： 効果的な発表の仕方・パワーポイントの作成 ○英会話： Giving a presentation, Rules and requests, Work idioms, Discussing issues, etc. <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： People from different countries, On the phone, etc. ○プレゼンテーション： 英語によるプレゼンまたはスピーチ発表 ○英会話： Apologies and explanations, Tasks and targets, Dealing with complaints, Transportation and travel, etc. 			
《教科書》 <ul style="list-style-type: none"> ・ <i>American English File Level 2 (Oxford University Press)</i> 			
《評価の方法》 <p>小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%</p>			
《備考》 <p>《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB2（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。</p>			

授業科目名：ビジネス英語（2年）		クラス：Inter.	
担当：Y.ASSADY、K.ROBERTS、柳瀬			
年次： 2	期間：通年	総時間数：195	単位数：13
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
《到達目標（1年間）》			
<ul style="list-style-type: none"> ・CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。 			
《授業の進め方と方法》			
<p>担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： プリントを用いて、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話： テキストに沿って、ペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション： 基礎について講義形式で説明した後、演習形式の授業を行い、最終発表を評価する。 			
《授業計画》			
<1学期> <ul style="list-style-type: none"> ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション： パラグラフの構成 ○英会話： Charity work, Sports, Movies, etc. 			
<2学期> <ul style="list-style-type: none"> ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション： 効果的な発表の仕方・パワーポイントの作成 ○英会話： Multinational Business, Tourism, Food, etc. 			
<3学期> <ul style="list-style-type: none"> ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション： 英語によるプレゼンまたはスピーチ発表 ○英会話： Technology, Science, etc. 			
《教科書》			
<ul style="list-style-type: none"> ・Reading Advantage 2 (Cengage Learning) 			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネス英語（2年）		クラス：Pre Inter.	
担当：C. CIACIRU、田中、柳瀬			
年次： 2	期間：通年	総時間数：195	単位数：13
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・ 英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
《到達目標（1年間）》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。 			
《授業の進め方と方法》			
<p>担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○ 4技能： テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○ 英会話： プリントを用いて、ペアワーク、グループワークでのスピーキング練習を交えながら進める。 ○ 検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《授業計画》			
<1学期> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4技能： Directions, Understanding a menu, etc. ○ 文法： Questions, Reported speech, -ing and to... ○ 検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
<2学期> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4技能： Places and buildings, city vacations, etc. ○ 文法： Go, get, do, make, and have, Pronouns and possessives, A and the ○ 検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
<3学期> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4技能： Phones and the internet, Public transportation, etc. ○ 文法： Determiners and pronouns, Adjectives and adverbs, Word order ○ 検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《教科書》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Basic Grammar in Use</i> (Cambridge University Press) ・ <i>American English File Level 1</i> (Oxford University Press) 			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネス英語（2年）		クラス：Elementary	
担当：K.ROBERTS、小林、田中			
年次： 2	期間：通年	総時間数：195	単位数：13
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
<ul style="list-style-type: none"> ・海外との仕事等において、ごく基本的な事柄に関しては、文やよく使われる表現を理解できる能力を育成する。 ・英文法を学習し、身近な日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。 			
《到達目標（1年間）》			
<ul style="list-style-type: none"> ・CEFRのA2または実用英語技能検定準2級相当の英語能力を身につける。 			
《授業の進め方と方法》			
<p>担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○4技能： テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話： プリントを用いて、ペアワーク、グループワークでのスピーキング練習を交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《授業計画》			
<1学期> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Activities, Saying the date, talking on the phone ○文法： Questions, Reported speech, -ing and to... ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
<2学期> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Traveling, Clothes, Inviting and offering ○文法： Go, get, do, make, and have, Pronouns and possessives, A and the ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
<3学期> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能： Hotels, Asking for and giving directions ○文法： Determiners and pronouns, Adjectives and adverbs, Word order ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 			
《教科書》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Basic Grammar in Use</i> (Cambridge University Press) ・ <i>American English File Starter</i> (Oxford University Press) 			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50%、校内試験の結果50%			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA2（基礎段階の言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：韓国語文法		クラス：1年①と②	
担当：小林範彦、鄭淑然、勝又			
年次： 1	期間：通年	総時間数：150	単位数：10
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ 韓国語文字「ハングル」の認識、発音を身に着け、基礎と中級の文法の説明、練習を重ねて、応用ができ、初級～中級或いは中級～上級へスムーズにシフトできることを目的とする。			
≪到達目標（1年間）≫ 韓国語の発音をマスターし、それぞれのレベルの文の意味を理解し、さらに表現したい文が作れる。 1年②：1年間でTOPIKⅠ～2級・ハン検5級～4級の取得を目指す。 1年①：1年間でTOPIKⅡの3級OR4級、ハングル検定、3級以上			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
発音が終わると課ごとの文法の解説、活用を中心とした授業をする			
≪授業計画≫			
第1学期	第2学期	第3学期	
①の上（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2A(テキスト) 第1課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト1A ①～④週 ハングル テキスト 1課～7課（1A）	①の上（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2B(テキスト) 第1課～第8課 ①の下（ゼロレベル）テキスト1B テキスト 第8課（1A） 第1課～第5課（1B）	①の上（ハングル検定4級以上） Easy Korean 3A(テキスト) 第1課～第4課 ①の下（ゼロレベル）テキスト2A テキスト 第6課～第8課（1B） 第1課～第2課（2A）	
≪教科書≫ Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 1A～2A 2022年（改訂版） ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A～3A 2022年（改訂版） ハングルパーク			
≪評価の方法≫ 講師評価100%（授業参加度、授業態度、課題提出物、小テストなどにより評価する）			
≪備考≫			

授業科目名：韓国語 文法		クラス：2年①	
担当：鄭淑然先生・小林範彦先生			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：120	単位数：8
授業科目内容			
<< 授業の概要と目的 >> それぞれ、中級、上級の文法を習い、応用活用ができるようにするのが目的である。			
<< 到達目標（1年間） >> 上のレベルはハングル検定2級の取得 下のレベルはハングル検定3級以上の取得			
<< 授業の進め方と方法 >>			講義・演習
課ごとの文法を説明し、活用練習をする			
<< 授業計画 >>			
第1学期		第2学期	
Easy Korean 3B Unit4~Unit8 Easy Korean 4A Unit1~Unit6 Easy Korean 3A Unit3~Unit8 Easy Korean3B Unit 1 ~Unit4		Easy Korean 4A Unit7~Unit8 Easy Korean 4B Unit1~Unit8 Easy Korean 3B Unit5-Unit8 Easy Korean 4A Unit1~Unit8	
<< 教科書 >>			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A~2B 2022年（改訂版） ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 4A~4B 2022年（改訂版） ハングルパーク			
<< 評価の方法 >>			
講師評価100%（出席、授業態度、課題、小テストなどによる総合評価）			
<< 備考 >>			

授業科目名：韓国語総合スキル		クラス：1年①と②	
担当：小林範彦、鄭淑然、勝又			
年次： 1	期間：通年	総時間数：最大120	単位数：8
授業科目内容			
<< 授業の概要と目的 >> 韓国語の初級と中級の語彙を増やし、文を読み、簡単な文を書いて、本文を聞くなど、総合的な韓国語力を伸ばすのを目的とする。			
<< 到達目標（1年間） >> 1年②：1年間でTOPIK I ～2級・ハン検5級～4級の取得、且つ簡単な読み書きができる 1年①：1年間でTOPIK II の3級OR4級、ハングル検定、3級以上の取得、且つ、中級レベル文の読み書きができる			
<< 授業の進め方と方法 >>			講義・演習
ゼロレベルの発音部分では3人の講師がテキストをリレー式で担当していく。発音が終わると課ごとの読み・書き・聞きを重点的に進めていく			
<< 授業計画 >>			
第1学期	第2学期	第3学期	
1年①（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2A（テキスト） 第1課～第8課 1年②（ゼロレベル）テキスト1A ①～④週 ハングル テキスト 1課～7課（1A）	1年①（ハングル検定4級以上） Easy Korean 2B（テキスト） 第1課～第8課 1年②（ゼロレベル）テキスト1B テキスト 第8課（1A） 第1課～第5課（1B）	1年①（ハングル検定4級以上） Easy Korean 3A（テキスト） 第1課～第4課 1年②（ゼロレベル）テキスト2A テキスト 第6課～第8課（1B） 第1課～第2課（2A）	
<< 教科書 >>			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 1A～2A 2022年（改訂版）ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A～3A 2022年（改訂版）ハングルパーク			
<< 評価の方法 >>			
講師評価 50%（授業参加度、授業態度、課題提出物、小テストなどにより評価する） 校内試験 50%			
<< 備考 >>			

授業科目名：中国語 文法		クラス：2年①	
担当：兪虹先生、楊先生、名倉先生、蓮佳先生			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：120	単位数：8
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ 中級の文法学習と応用を中心にした授業で、多くの接続詞、副詞を使ったより複雑な表現ができるようになるのが目的である			
≪到達目標（1年間）≫ HSK4級の取得 中級レベルの文法の応用力が身に着く			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
テキストに沿って、課ごとの文法の説明と練習を進めていく			
≪授業計画≫			
第1学期		第2学期	
HSK3級 第11課～20課の文法事項の説明と応用 ・ ”把“字句1, 2, 3 ・ “才” 和 “就” ・ 复合趋向补语, 复杂的状态补语 ・ 除了……以外, 都/还/也 ・ 疑问代词活用2, 3 ・ 单音节形容词重叠, 双音节动词重叠 ・ 连词: 只要……就, 只有……才, 如果……就 ・ 介词”关于“ ・ ”使“”叫“”让“ ・ ”被“字句,		HSK4級上 第1課～第10課の文法事項と説明 ・ 连词: 不仅……也/还/而且, 即使……也, 既……又/也/还……, 尽管, 而, 不管, 要是, 只要, 因此, 可是, 结果, 不过, 由于 ・ 副词和形容词: 从来, 刚, 正好, 差不多, 却, 挺, 本来, 另外, 原来, 并, 甚至, 肯定, 实际上, 尤其, 竟然, 可不是, 往往, 难道, 比如 ・ 动词: 以为, 再说, 值得, 估计, 使, 通过, 上, ・ 介词: 按照, ・ その他: 对……来说,	
≪教科書≫ 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』练习册 北京語言大学出版 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 4』上 练习册 北京語言大学出版			
≪評価の方法≫ 講師評価100%（出席、課題、授業態度、小テストなどによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：韓国語 総合スキル		クラス：2年①	
担当：鄭淑然先生・小林範彦先生			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：90	単位数：6
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ 中級も上級も読み、書き、聴き、話す4技能をバランスよく伸ばすのが目的である。			
≪到達目標（1年間）≫ 上のレベルは中上級の内容が聞き取れるようになり、内容が理解できる 下のレベルは初中級の内容が聞き取れるようになり、内容が理解できる。			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
課ごとの内容に沿って授業を進めていく。			
≪授業計画≫			
第1学期		第2学期	
Easy Korean 3B Unit4~Unit8 Easy Korean 4A Unit1~Unit6 Easy Korean 3A Unit3~Unit8 Easy Korean3B Unit 1 ~Unit4		Easy Korean 4A Unit7~Unit8 Easy Korean 4B Unit1~Unit8 Easy Korean 3B Unit5-Unit8 Easy Korean 4A Unit1~Unit8	
≪教科書≫ Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A~2B 2022年（改訂版） ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 4A~4B 2022年（改訂版） ハングルパーク			
≪評価の方法≫ 講師評価50%（出席、授業態度、小テスト、課題などによる総合評価） 校内試験50%			
≪備考≫			

授業科目名:韓国文化と社会		クラス:1年	
担当:小林範彦			
年次:1	期間:通年	総時間数:75	単位数:5
授業科目内容			
《授業の概要と目的》 ①K_POPと韓国語だけでなく、韓国の風習、伝統、地理、社会、文化をしり、韓国に対する理解をより深める。 ②コラムなどを原文で読み、文章に慣れる			
《到達目標(1年間)》 ①音楽以外の韓国を知る ②長文読解力を高める			
《授業の進め方と方法》 PPスライド、動画、写真、コラム			
《授業計画》 1学期ー ①食事(料理、マナー) ②歴史(分断の歴史、軍事境界線) ③文化(姓、干支、舞踊) ④韓流の原点(韓流と呼ばれる前の韓国音楽) ⑤社会(交通機関、学歴社会) 2学期ー ①食事(粉食、あいさつ) ②文化(結婚式、歳、東大門と南大門、礼儀、オンドル) ③社会(デモ文化、大統領弾劾、パワハラ、財閥) ④地理(行政区域) ⑤歴史(檀君神話) 3学期ー ①社会(メンツ、親孝行、旧正月、拉致問題、火病) ②歴史(大韓航空爆破事件、分断、離散家族) ③食事(ジャージャー麺、チャンボン) ④反日と新日			
《教科書》 ○参考資料 韓国文化100 ○オリジナルスライド			
《評価の方法》 出席、授業態度、テスト等による総合評価			
《備考》 内容が変更あるいは順序が変わること場合がある			

授業科目名：韓国語 読解		クラス：2年①	
担当：鄭淑然先生・小林範彦先生			
年次： 2	期間：通年	総時間数：75	単位数：5
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
TOPIK II の読解の問題が理解でき、長短文がすらすら読めるようになると同時に正答を導けるようになる。			
《到達目標（1年間）》			
TOPIK II 3級以上取得できる			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
毎回TOPIK II の読解の過去問4～5問を抜粋し、それについて説明、知らない単語を調べるなど問題を徹底的分析する			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
W1～W4：TOPIK II 読解 4～5問、ビジネス韓国語1～2 W5～W8：TOPIK II 読解 4～5問 ビジネス韓国語3～4 W9～W12：TOPIK II 読解 4～5問 ビジネス韓国語5～6 W13～W15：TOPIK II 読解 4～5問 ビジネス韓国語7～8	W1～W4：TOPIK II 読解 4～5問、ビジネス韓国語9～10 W5～W8：TOPIK II 読解 4～5問、ビジネス韓国語11～12 W9～W12：TOPIK II 読解 4～5問、ビジネス韓国語13～14 W13～W15：TOPIK II 読解 4～5問、ビジネス韓国語15～16	W1～W3：ハングル検定対策① W4～W6：ハングル検定対策② W7～W9：ハングル検定対策③ W10～W12：ハングル検定対策④ W13～W15：ハングル検定対策⑤	
《教科書》			
なし（プリントで対応）			
《評価の方法》			
講師評価100%（出席、宿題、授業態度などによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：韓国語 作文		クラス：2年①					
担当：鄭淑然先生・小林先生							
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：60	単位数：4				
授業科目内容							
<< 授業の概要と目的 >> 自己紹介からはじめ、自分の考え方、意見、見解などを文章にまとめることができるようになる。							
<< 到達目標（1年間） >> 韓国語で文章が書ける。 TOPIK II の課題作文が書ける。							
<< 授業の進め方と方法 >>			講義・演習				
TOPIK II の600文字の作文のテーマを抜粋して、作文を日本語に訳し、さらにテーマに沿って、作文を書いて、添削して、完成させる繰り返しで行う。							
<< 授業計画 >> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">第2学期</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">第3学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> W1～W3 TOPIK II の作文① W4～W6 TOPIK II の作文② W7～W9 TOPIK II の作文③ W10～W12 TOPIK II の作文④ W13～W15 TOPIK II の作文⑤ </td> <td style="vertical-align: top;"> 成果発表会のための文章を テーマ決め（2回） 内容を箇条書き（1回） 内容を膨らまして書き、（3～4回） 書き終わったのを何回か添削（3～4回） 仕上げ（1～2回） </td> </tr> </tbody> </table>				第2学期	第3学期	W1～W3 TOPIK II の作文① W4～W6 TOPIK II の作文② W7～W9 TOPIK II の作文③ W10～W12 TOPIK II の作文④ W13～W15 TOPIK II の作文⑤	成果発表会のための文章を テーマ決め（2回） 内容を箇条書き（1回） 内容を膨らまして書き、（3～4回） 書き終わったのを何回か添削（3～4回） 仕上げ（1～2回）
第2学期	第3学期						
W1～W3 TOPIK II の作文① W4～W6 TOPIK II の作文② W7～W9 TOPIK II の作文③ W10～W12 TOPIK II の作文④ W13～W15 TOPIK II の作文⑤	成果発表会のための文章を テーマ決め（2回） 内容を箇条書き（1回） 内容を膨らまして書き、（3～4回） 書き終わったのを何回か添削（3～4回） 仕上げ（1～2回）						
<< 教科書 >> 特になし							
<< 評価の方法 >> 講師評価100%（出席、授業態度、完成度、内容などによる総合評価）							
<< 備考 >>							

授業科目名：韓国語 表現		クラス：2年①	
担当：鄭淑然先生			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
韓国の伝来童話、昔話を通して、自然な韓国語の表現を学ぶ。			
《到達目標（1年間）》			
韓国語らしい表現が身に着ける。			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
韓国語童話をYOUTUBEで見せて、日本の童話などを比較する。それから所感、あらすじを韓国語で書いて、学生同士で質問しあう			
《授業計画》			
第3学期			
W1～W3 伝来童話（昔話）① W4～W6 伝来童話（昔話）② W7～W9 伝来童話（昔話）③ W10～W12 伝来童話（昔話）④ W13～W15 伝来童話（昔話）⑤			
《教科書》			
なし			
《評価の方法》			
講師評価100%（出席、授業態度などによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：韓国語会話		クラス：1年①と②	
担当：小林範彦、鄭淑然、勝又			
年次： 1	期間：通年	総時間数：90	単位数：6
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
1年②は簡単なあいさつから始め、日常会話で使う言葉とある程度難易度のある言葉で意思を表現できるようになるのを目的とする。			
1年①は会話の中で慣用句、熟語などの活用ができるようになることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
1年②は日常会話ができる 1年①は読む難しい表現の会話ができる。			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
1年②はハングルが読めるようになったら、課ごと文型を使った練習を通して、応用会話のトレーニングをする。1年①は資料で抜粋した内容の慣用句、熟語、漢字用語を学びながら、会話に活用する。			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
1年①（ハングル検定4級以上） 慣用句から抜粋 漢字成語から抜粋 熟語から抜粋			
1年②（ゼロレベル）テキスト1A ①～④週 ハングル テキスト 1課～7課（1A）	1年②（ゼロレベル）テキスト1B テキスト 第8課（1A） 第1課～第5課（1B）	1年②（ゼロレベル）テキスト2A テキスト 第6課～第8課（1B） 第1課～第2課（2A）	
《教科書》			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』1A～2A 2022年（改訂版）ハングルパーク 参考書 [살아있는 한국어] の慣用句、漢字成語、熟語シリーズ			
《評価の方法》			
講師評価100%（授業参加度、授業態度、課題提出物、小テストなどによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：韓国語 会話		クラス：2年①	
担当：鄭淑然先生・小林範彦先生			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
中級と上級の学生が話題のニュース、記事に関して、自分の意見を韓国語で言う練習を重ねて、言えるようになるのが目的である。			
《到達目標（1年間）》			
ニュースなどについて、自分の意見を述べることができる			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
慣用句、ニュースなどを抜粋して、内容の単語を習いつつ、自分の意見をまとめて話す			
《授業計画》			
第1学期			
<p>慣用句数回分抜粋</p> <p>読みやすい時事ニュースを数回分ピックアップ</p> <p>ビジネスに関する記事を数回分抜粋</p>			
《教科書》			
なし、プリント対応			
《評価の方法》			
講師評価100%（出席、授業態度、課題、小テストなどによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：韓国語 プレゼンテーション		クラス：2年①	
担当：鄭淑然先生、小林先生			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
2年間の習得した知識を使って、レポートを書き、それをPPTで発表する。			
《到達目標（1年間）》			
韓国語でプレゼンができる。			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
書いた作文をもとにPPTを作り、パワーポイントを見せながらプレゼン練習をして、最終的に発表会で発表をする。			
《授業計画》			
第3学期			
<p>W1～W3：PPT作成</p> <p>W4～W5：発表文と照らし合わせながら確認</p> <p>W6～W10：それぞれ発表の練習をする</p> <p>W11～12：全体で発表の練習</p> <p>W13～W15：リハーサルと本番</p>			
《教科書》			
なし			
《評価の方法》			
講師評価100%（出席、授業態度、完成度、本番発表などによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：中国語 文法		クラス：1年①	
担当：兪虹・楊玲・名倉仁美・小林蓮佳			
年次： 1	期間：通年	総時間数：150	単位数：10
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ 文字語彙を確実に読めて、理解すると同時に、中国語の文法ルールを身に着ける。さらに、中国語で表現できるようにする。			
≪到達目標（1年間）≫ HSK(Hanyu Shuiping Kaoshi = 中国語レベル試験) H3の取得 初級の文字・語彙・文法をマスターすること ※H1（初級）～H6（上級）			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
≪授業計画≫			
第1学期	第2学期	第3学期	
HSK1級 第1課～第15課 文字・語彙の復習、文法の把握と応用	HSK2級 第1課～第15課 HSK3級 第1課～第3課 文字・語彙の復習、文法の把握と応用	HSK3級 第4課～第12課 文字・語彙の復習、文法の把握と応用	
≪教科書≫ 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』北京語言大学出版社 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』北京語言大学出版社 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』北京語言大学出版社			
≪評価の方法≫ 教師評価100%（小テスト、出席、授業態度、提出物などによる評価）			
≪備考≫			
（備考欄）			

授業科目名：中国語総合スキル		クラス：1年①	
担当：兪虹・楊玲・名倉仁美・小林蓮佳			
年次： 1	期間：通年	総時間数：120	単位数：8
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ ピンインからスタートして、初級の聴き、話す、読み、書きの4技能を総合的に伸ばすことを目的とする。			
≪到達目標（1年間）≫ HSK(Hanyu Shuiping Kaoshi = 中国語レベル試験) H2の取得 簡単な挨拶、簡単なフレーズを中国語で表現できるようになる ※H1（初級）～H6（上級）			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
HSK1のテキストをリレー式で学び、その後HSK2級を教科書に沿って課ごとの文法、文字・語彙を活用した総合的な学習を進めていく。			
≪授業計画≫			
第1学期	第2学期	第3学期	
「轻松学汉语」1課～ HSK1級 第1課～第15課まで	HSK2級 第1課～第15課 HSK3級 第1課～第3課	HSK3級 第4課～第12課 (単語とフレーズの読み書き、話す、活用)	
≪教科書≫ Yamin Ma Xinying Li 「轻松学中文」第二版 英文版 北京语言大学出版社 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』北京語言大学出版社 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』北京語言大学出版社 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』北京語言大学出版社			
≪評価の方法≫ 教師評価50%（小テスト、出席、授業態度、提出物などによる評価） 校内試験50%			
≪備考≫			

授業科目名：中国語 総合スキル		クラス：2年①	
担当：兪虹先生、楊先生、名倉先生、山本先生、蓮佳先生			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：90	単位数：6
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ 中級の文字・語彙、文型の習得と同時に4技能のステップアップを目指す。			
≪到達目標（1年間）≫ HSK4級以上の取得 日常生活において、ある程度中国語を話せる、聞き取れる、コミュニケーションがとれる。			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
主にワークブックを使って、聴き、読解、書きの練習を行い、課ごとの文法の応用で会話の練習を行う			
≪授業計画≫			
1学期		2学期	
HSK3級ワークブック第11課～20課 リスニング リーディング ライティング		HSK4級上 ワークブック 第1課～第10課 リスニング リーディング ライティング	
≪教科書≫			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』 练习册 北京語言大学出版社 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 4』 上 练习册 北京語言大学出版社			
≪評価の方法≫			
校内試験50% 講師評価50%（出席、課題、授業態度などによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：中国文化と社会		クラス：1年①	
担当：蓮佳先生			
年次：1	期間：通年	総時間数：75	単位数：5
授業科目内容			
<p>《授業の概要と目的》</p> <p>中国語の言葉だけではなく、中国社会の行政区分などについて理解し、昔話、諺などから中国人を考え方を垣間見ながら、中国語の背景を知り、理解してもらうことを目的とする。</p>			
<p>《到達目標（1年間）》</p> <p>中国人の考え方や、中国の地理的な位置などについて多少わかるようになる</p>			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
<p>毎回のテーマを資料作成して配布する。資料に沿って、必要に応じて、動画などを併用しながら進めていく。</p>			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
<p>第1～3回 中国神話の世界&中国のドラマ紹介</p> <p>第4～6回 中国の行政区分、民族と分布</p> <p>第7～9回 中国大陸、香港、台湾について</p> <p>第10～12回 中国の節句と文化</p> <p>第13～15回 復習とテスト</p>	<p>第1～3回 中国の名所を紹介</p> <p>第4～6回 中国のことわざの紹介</p> <p>第7～9回 中国の漢詩を詠む（2～3篇）</p> <p>第10～12回 中国の伝統的な昔話2～3回分</p> <p>第13～15回 復習とテスト</p>	<p>第1回 中国のお正月ー春節</p> <p>第2～4回 中国のサイトの紹介</p> <p>第5～8回 中国語の歌の紹介と歌ってみる</p> <p>第9～11回 中国のについて</p> <p>第12～15回 復習とテスト</p>	
《教科書》			
自作資料			
《評価の方法》			
テスト、授業態度、提出物など総合的に評価する			
《備考》			

授業科目名：中国語 読解		クラス：2年①	
担当：蓮佳			
年次： 2	期間：通年	総時間数：75	単位数：5
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
中級の読解文の新出単語の把握、習得に加え、長い文をすらすら読めること。さらに、文章の内容を理解し、中国語の独特な表現、言い回しになれること。			
《到達目標（1年間）》			
中級の読解の文章を黙読して、7-8割の内容が理解できる。上級へシフトするための語彙力の蓄積ができ、中国語らしい表現ができる			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
1 Unitごとに「精読」「速読」「故事成語」から成り立っている。精読の部分を中心に単語を把握し、本文を読んでしっかり理解できてから、速読と故事成語をざっと説明し、知識を広げていく。			
《授業計画》			
第1学期	第2学期	第3学期	
テキスト Unit1～6まで 精読 速読 成語故事	テキスト Unit 6～11まで 精読 速読 成語故事	テキスト Unit12～14まで 精読 速読 成語故事	
《教科書》			
張美霞 編著「实用汉语阅读教程」中级上 北京语言大学出版社 2021年第一版（テキスト）			
《評価の方法》			
講師評価100%（出席、授業態度、宿題、課題、小テストなどによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：中国語 作文		クラス：2年①	
担当：兪虹先生、蓮佳先生、山本先生、楊先生			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
<p>《授業の概要と目的》</p> <p>中国語の中級レベルに達する学生が、簡単な自己紹介からはじめ、最終的に中国語で自分の見解、分析をレポートに書けることを目的とする。</p>			
<p>《到達目標（1年間）》</p> <p>中国語である程度の自分の意見を述べるができる</p>			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
<p>作文の例をいくつかを読んで、今まで習った文法を使って簡単な文から書き始め、少しずつ増やしていく。</p>			
《授業計画》			
2学期		3学期	
テーマごとに書く 自己紹介 家族の紹介 私の一日 趣味について 友人を紹介 学校を紹介 中国語の勉強について 中国或いは中国語の魅力を感じる分野		例年のプレゼンを見せる 例年のプレゼンテーマを紹介 レポートのテーマを考える（構想） レポートの内容を簡条書き レポートの肉付け レポートの直し レポートの最終直し 発表の練習	
《教科書》			
<p>教科書は特に指定はないが、必要に応じてプリントを用意して配布する。</p>			
《評価の方法》			
<p>講師評価100%（出席、授業態度、宿題、課題、作文の完成度などによる総合評価）</p>			
《備考》			

授業科目名：中国語 表現		クラス：2年①	
担当：蓮佳先生、山本先生、兪虹先生			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
中国人の会話の中でよく使う慣用句を習い、中国語の独特な言い回し、表現を身に着けることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
日常会話で使う慣用句が理解できる			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
テキストの課ごとの会話文を読み、意味を解説しながら進めていく。			
《授業計画》			
第1学期			
<p>第一課 我自己的钱爱怎么花就怎么花 第二課 这次考试又考砸了 第三課 这60块钱就打水漂儿了 第四課 你可真是个马大哈 第五課 这事让我伤透了脑筋 第六課 有的路口都乱成一锅粥了 第七課 这都是看爱情小说看的 第八課 在工作上他向来一事一，二是二 第九課 为了孩子我们豁出去了 第十課 这事儿八成儿得黄</p>			
《教科書》			
沈建华「汉语口语习惯用语教程」北京语言大学出版社 2010年第11版			
《評価の方法》			
講師評価100%（出席、授業態度、課題などによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：中国語 会話		クラス：1年①	
担当：兪虹・楊玲・名倉仁美・小林蓮佳			
年次： 1	期間：通年	総時間数：90	単位数：6
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ ピンインからスタートして、文字、語彙、文法の習得を確認しながら、ペアワークやグループワークを通して、場面に適した会話力を伸ばす。			
≪到達目標（1年間）≫ HSK(Hanyu Shuiping Kaoshi = 中国語レベル試験) H3の取得 初級レベルの会話で自由に受け答えができる ※H1（初級）～H6（上級）			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
1～2カ月間をかけて中国語の基礎となるピンイン（発音）を習い、会話を中心に課ごと進めていく。			
≪授業計画≫			
第1学期	第2学期	第3学期	
HSK1級 第1課～第15課 課ごとの会話練習	HSK2級 第1課～第15課 HSK3級 第1課～第3課 課ごとの会話練習と応用	HSK3級 第4課～第12課 課ごとの会話練習と応用	
≪教科書≫ 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』北京語言大学出版社 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』北京語言大学出版社 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』北京語言大学出版社			
≪評価の方法≫ 教師評価100%（出席、発話の積極性、提出物などによる評価）			
≪備考≫			
（備考欄）			

授業科目名：中国語 会話		クラス：2年①	
担当：蓮佳先生、楊先生、兪虹先生			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
<p>≪授業の概要と目的≫</p> <p>生活の場面において、ある程度中国で自分の意思を伝えることができることを目的とする。</p>			
<p>≪到達目標（1年間）≫</p> <p>中級の中国語の会話力が身に着く</p>			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
ペアワーク、グループワークを中心に中級の語彙、文型を使った少し難易度のある会話を行う。			
≪授業計画≫			
第1学期			
<p>第11課、第12課、第14課「把」字句の活用</p> <p>第13課 方向補語</p> <p>第15課 接続詞「除了・・・以外，都/还/也・・・」</p> <p>第16課 仮説の接続詞、複雑な状態補語</p> <p>第17課 疑問代名詞の活用</p> <p>第18課 接続詞「只要・・・就」、介詞「关于」の活用</p> <p>第19課 方向補語の派生義の活用</p> <p>第20課 「被」字句の活用</p>			
≪教科書≫			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』北京語言大学出版			
≪評価の方法≫			
講師評価100%（出席、積極性、宿題、課題などによる評価）			
≪備考≫			

授業科目名：中国語 プレゼンテーション		クラス：2年①	
担当：蓮佳先生			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
二年間勉強した内容を自由に発揮して、中国或いは日本の興味のある分野について調べて、中国語でまとめてプレゼンできることを目的とする			
《到達目標（1年間）》			
ある事柄についての自分の意見をまとめて説明できる			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
それぞれ興味を持っている分野について調べて、それぞれのペースで文をまとめて、最終的にPPTを作って発表する			
《授業計画》			
第3学期			
第1～2回 興味ある分野について調べる 第3～6回 調べたことを中国語でまとめる 第7～8回 まとめた文をもとにPPTを作る 第9～10回 PPTの修正 第11～13回 プレゼンの練習 第14～15回 発表会本番			
《教科書》			
なし、必要に応じてプリントで対応			
《評価の方法》			
本番発表 50% 講師評価 50%（プレゼンの完成度、出席、授業態度などによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：総合中国語		クラス：1年（サブ科目）							
担当：兪虹先生・楊先生・名倉先生・蓮佳先生									
年次：1	期間：通年	総時間数：210	単位数：14						
授業科目内容									
<p>≪授業の概要と目的≫</p> <p>中国語の発音からスタートし、語彙、簡単な文が読めて、中国語の構造を理解し、次の中級へスムーズにシフトできるように、基礎をより堅実にすることを目的とする</p>									
<p>≪到達目標（1年間）≫</p> <p>HSK(Hanyu Shuiping Kaoshi = 中国語レベル試験) H2の取得 簡単なフレーズを中国語で話せる</p>									
<p>≪授業の進め方と方法≫</p> <p>課ごとに複数の先生が引き継ぎしながら進めていく。</p>			講義・演習						
<p>≪授業計画≫</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">第1学期</th> <th style="width: 33%;">第2学期</th> <th style="width: 33%;">第3学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"> ピンイン（1か月～1.5か月） HSK1級のテキスト 第1課～第10課まで </td> <td style="text-align: center;"> HSK1級のテキスト （第11課～第15課） HSK2級のテキスト （第1課～第5課） </td> <td style="text-align: center;"> HSK2級のテキスト （第6課～第12課） </td> </tr> </tbody> </table>				第1学期	第2学期	第3学期	ピンイン（1か月～1.5か月） HSK1級のテキスト 第1課～第10課まで	HSK1級のテキスト （第11課～第15課） HSK2級のテキスト （第1課～第5課）	HSK2級のテキスト （第6課～第12課）
第1学期	第2学期	第3学期							
ピンイン（1か月～1.5か月） HSK1級のテキスト 第1課～第10課まで	HSK1級のテキスト （第11課～第15課） HSK2級のテキスト （第1課～第5課）	HSK2級のテキスト （第6課～第12課）							
<p>≪教科書≫</p> <p>『標準教程 STANDARD COURSE HSK 1』北京語言大学出版社 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 2』北京語言大学出版社</p>									
<p>≪評価の方法≫</p> <p>校内試験50%、先生の評価の平均50%（出席、課題、小テスト、授業態度などによる総合的な評価）</p>									
<p>≪備考≫</p>									

授業科目名：総合中国語		クラス：2年（サブ科目）	
担当：名倉先生、兪虹先生、楊先生、蓮佳先生			
年次： 2	期間：通年	総時間数：195	単位数：13
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫ 中国語の基礎を固め、中級へシフトする。語彙を増やして、より多くの場面において、中国語で表現でき、理解でき、活用できるようにすることを目的とする。			
≪到達目標（1年間）≫ ある程度の日常会話ができる。 HSK3級以上取得			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
課ごとにパート別に2人、3人の先生が進めていく。			
第1学期	第2学期	第3学期	
HSK2級 第12課～15課 HSK3級 第1課～5課	HSK3級 第6課～18課	HSK3級 第19課～20課 プレゼンテーション	
≪教科書≫ 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 3』北京語言大学出版社			
≪評価の方法≫ 校内試験50% 講師評価50%（出席、宿題、課題、小テストなどによる評価）			
≪備考≫			

授業科目名：教養数学（自由選択）		クラス：1年2年	
担当：高木			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大2/2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
日本留学生試験対策、その他の試験または就職活動の対策を目的とする。受講生1人1人にそれぞれに対応する。基礎確認問題、応用問題、実践問題と徐々にレベルを挙げながら、講義形式と演習形式を交互に行う。			
≪到達目標≫			
試験合格を到達目標とする			
≪授業の進め方と方法≫			
基礎の確認、復習、基本の講義と演習、実際の試験を想定した問題の講義と演習へと進める。講義と演習を交互に行う。			
≪授業計画≫			
学生1人1人に対応するため、授業計画は個別で対応する			
≪教科書≫			
日本留学生試験過去問題集、SPI試験対策問題集、数検準2級対策本等。ただし、学生にはコピー等を配布するので用意する必要はない。			
≪評価の方法≫			
毎回の課題提出、テストなどで評価する。			
≪備考≫			

シラバス

授業科目名：英語観光ガイド研修（自由選択）		クラス：選択	
担当：小林典子			
年次：1または2年次	期間：集中	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》 観光英語の基礎を学び、日本の観光地を訪れた外国人旅行者に英語で観光地を紹介することができる力を育成する。			
《到達目標》 ●日本の文化（神社とお寺）事象について英語で表現することができる。 ●清水市の美濃輪稲荷神社と妙慶寺の歴史と参拝方法を外国人旅行者に英語で説明できる。			
《授業の進め方と方法》 校内で英語表現について学習した後、現場にて実際に外国人旅行者に神社と寺の英語ガイドを行う。			
《授業計画》 Day 1 （2.5授業時間） 校内にて観光英語の基礎を学習する。 Day 2 （2.5授業時間） 校内にて美濃輪稲荷神社および妙慶寺の歴史を調べて英語資料を作成する。 Day 3 （5授業時間） 清水区美濃輪稲荷神社（清水区美濃輪6-12）にて、英語ガイドとして案内を行う。 Day 4 （5授業時間） 妙慶寺（清水区清水町8-16）にて英語ガイドとして案内を行う。			
《教科書》 関係書類を活用し、プリントを作成する。			
《評価の方法》 15 授業時間の参加で1単位を認定する。			
《備考》 本研修は、清水港に着港する客船の乗客（外国人旅行者）へ清水市内を案内する「清水区観光ボランティアの会（清水市民活動センター内）」の活動の一環として行うものとする。			

シラバス

授業科目名：【外国語海外研修】（自由選択）		クラス：	
担当：			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大60/60	単位数：最大2/2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》 既習の知識や技能を用いて、学習言語の運用能力の向上を目指す。語学学習に加え、観光など通じ現地の歴史・文化・人に触れることによって、研修国についての理解を深める。			
《到達目標》 ・学習言語を用いて生活することができる。 ・異文化交流を行い、研修国について理解できる。			
《授業の進め方と方法》 原則、長期休暇中に本校と提携している学校の短期語学研修プログラムに参加する。			
《授業計画》 参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。 本校と提携している学校などの短期語学研修プログラムに参加し、修了証や成績表などのコピーと報告書を提出する。 主な研修先 英語：フィリピン 中国語：北京、台湾 韓国語：ソウル、プサン			
《教科書》 各研修機関により異なる。			
《評価の方法》 研修期間や時間数により単位の認定は行うが、学内評価は行わない。			
《備考》			

シラバス

授業科目名：簿記【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：			
年次： 2	期間：集中	総時間数：最大30	単位数：最大2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日商簿記検定に合格するための対策講義			
《到達目標》			
日商簿記3級に合格する。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
《教科書》			
履修希望者を募集する際に知らせる。			
《評価の方法》			
出席、取り組みなどを総合的に評価する			
《備考》			

シラバス

授業科目名：インターンシップ（自由選択）		クラス：	
担当：山西			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大1/1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
仕事を体験することで、職業に対する理解を深める。			
《到達目標》			
社会人として必要なことを体験を通して身につける。 報告書が書けるようになる。			
《授業の進め方と方法》			
《授業計画》			
参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。 事前説明 ↓ インターンシップ参加 ↓ 報告書提出 ↓ 報告会			
《教科書》			
《評価の方法》			
単位の認定は行うが、評価はしない。			
《備考》			

シラバス

授業科目名：日本語【対策】（自由選択）	クラス：		
担当：山内、青山、勝又、時安、永井、山崎			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大120/90	単位数：最大8/6
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験に合格することを目的とし、主に読解対策を行う。			
《到達目標》			
日本語能力試験に合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
《教科書》			
履修希望者を募集する際に知らせる。			
《評価の方法》			
出席、取り組み、模擬試験の結果などを総合的に評価する			
《備考》			

シラバス

授業科目名：英語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：田中、藤田、小林、CORALIA			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
<ul style="list-style-type: none"> ・英検に合格すること、TOEICおよびIELTSで高得点を取得できる技能を育成する。 ・実用英語技能検定（英検）、TOEIC Listening&Reading、およびIELTSの受験に向け、その試験対策を行う。 			
《到達目標》			
<p>英検を受け、受験級に合格できる。</p> <p>TOEICで650点以上、およびIELTSでバンド5を取得することができる。</p>			
《授業の進め方と方法》			
<p>演習形式で各試験の問題を解き、その後解説を行う。</p>			
《授業計画》			
<p>受講希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。</p>			
《教科書》			
<p>受講希望者を募集する際に知らせる。</p>			
《評価の方法》			
<p>出席、取り組み、模擬試験の結果などを総合的に評価する</p>			
《備考》			
<p>受講希望者 3名以上で開講</p>			

シラバス

授業科目名：中国語【対策】（自由選択）	クラス：		
担当：兪虹、小林蓮佳、楊玲、名倉			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
HSKに合格することを目的とし、試験対策を行う。			
《到達目標》			
HSKに合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
《教科書》			
履修希望者を募集する際に知らせる。			
《評価の方法》			
出席、取り組み、模擬試験の結果などを総合的に評価する			
《備考》			

シラバス

授業科目名：韓国語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：鄭淑然			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
ハングル検定または、S-TOPIKに合格することを目的とし、試験対策を行う。			
《到達目標》			
ハングル検定に合格すること。 S-TOPIKに合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
《教科書》			
履修希望者を募集する際に知らせる。			
《評価の方法》			
出席、取り組み、模擬試験の結果などを総合的に評価する			
《備考》			

外国語学科

科目区分	必修・ 選択の 別	授業科目	1学年 年間合計 時間	1学年 単位	2学年 年間合計 時間	2学年 単位	授業時間 合計	単位数 合計
専門 科目	必修	コミュニケーションⅠ	30	2	0	0	30	2
		コミュニケーションⅡ	0	0	15	1	15	1
		社会・経済論	0	0	30	2	30	2
		異文化理解	0	0	30	2	30	2
		比較言語	0	0	30	2	30	2
		現代史	0	0	30	2	30	2
		文章表現・レポート作成	0	0	30	2	30	2
		パソコンリテラシー	120	8	0	0	120	8
		オフィスIT技術	30	2	60	4	90	6
		プレゼンテーション技術	30	2	0	0	30	2
		プレゼンテーション	30	2	0	0	30	2
		ビジネス英語	240	16	225	15	465	31
	選択必修 (注1)	韓国語文法	150	10	120	8	270	18
		韓国語総合スキル	120	8	90	6	210	14
		韓国文化と社会	75	5	0	0	75	5
		韓国語会話	90	6	30	2	120	8
		韓国語読解	0	0	75	5	75	5
		韓国語作文	0	0	60	4	60	4
		韓国語表現	0	0	30	2	30	2
		韓国語プレゼンテーション	0	0	30	2	30	2
		中国語文法	150	10	120	8	270	18
		中国語総合スキル	120	8	90	6	210	14
		中国文化と社会	75	5	0	0	75	5
		中国語会話	90	6	30	2	120	8
		中国語読解	0	0	75	5	75	5
		中国語作文	0	0	60	4	60	4
		中国語表現	0	0	30	2	30	2
		中国語プレゼンテーション	0	0	30	2	30	2
	自由 選択 (注2) (注3)	教養数学	30	2	30	2	60	4
		英語研修	60	4	60	4	120	8
		英語観光ガイド研修	15	1	15	1	30	2
		中国語研修	60	4	60	4	120	8
		韓国語研修	60	4	60	4	120	8
インターンシップ		30	2	30	2	60	4	
日本語検定対策		120	8	90	6	210	14	
英語検定対策		75	5	60	4	135	9	
中国語検定対策		75	5	60	4	135	9	
韓国語検定対策		75	5	60	4	135	9	

必修	480	450
選択必修	435	435
計	915	885

卒業に必要な総授業時間数	870	58	870	58	1740
--------------	-----	----	-----	----	------

注1:選択必修として韓国語または中国語を選択し、第1学年、第2学年にそれぞれ31単位以上を履修すること。

注2:自由選択科目には長期休暇中などに実施されるものもある。

注3:外国語検定対策以外の自由選択科目は、1年次または2年次のいずれかで履修すること。

教育課程表

24.04.01

外国語学科

科目区分	必修・ 選択の 別	授業科目	1学年 年間合計 時間	1学年 単位	2学年 年間合計 時間	2学年 単位	授業時間 合計	単位数 合計
専門科目	必修	コミュニケーション I	30	2	0	0	30	2
		コミュニケーション II	0	0	15	1	15	1
		社会・経済論	30	2	0	0	30	2
		異文化理解	0	0	30	2	30	2
		地域産業論	0	0	30	2	30	2
		パソコンリテラシー	120	8	0	0	120	8
		オフィスIT技術	30	2	150	10	180	12
		プレゼンテーション技術	30	2	0	0	30	2
		プレゼンテーション I	30	2	0	0	30	2
		プレゼンテーション II	0	0	30	2	30	2
	選択必修 (注1)	ビジネス英語	210	14	195	13	405	27
		韓国語文法	150	10	120	8	270	18
		韓国語総合スキル	120	8	90	6	210	14
		韓国文化と社会	75	5	0	0	75	5
		韓国語読解	0	0	75	5	75	5
		韓国語作文	0	0	60	4	60	4
		韓国語表現	0	0	30	2	30	2
		韓国語会話	90	6	30	2	120	8
		韓国語プレゼンテーション	0	0	30	2	30	2
		(サブ)総合韓国語	210	14	195	13	405	27
		中国語文法	150	10	120	8	270	18
		中国語総合スキル	120	8	90	6	210	14
		中国文化と社会	75	5	0	0	75	5
		中国語読解	0	0	75	5	75	5
		中国語作文	0	0	60	4	60	4
		中国語表現	0	0	30	2	30	2
		中国語会話	90	6	30	2	120	8
		中国語プレゼンテーション	0	0	30	2	30	2
		(サブ)総合中国語	210	14	195	13	405	27
		自由 選択 (注2) (注3)	教養数学	30	2	30	2	60
	英語研修		60	4	60	4	120	8
	英語通訳研修		15	1	15	1	30	2
	中国語研修		60	4	60	4	120	8
韓国語研修	60		4	60	4	120	8	
簿記(検定対策)	0		0	30	2	30	2	
インターンシップ	30		2	30	2	60	4	
日本語検定対策	120		8	90	6	210	14	
英語検定対策	75		5	60	4	135	9	
中国語検定対策	75		5	60	4	135	9	
韓国語検定対策	75	5	60	4	135	9		
卒業に必要な総授業時間数			870	58	870	58	1740	

注1:選択必修として2言語を選択し、第1学年に40単位以上、第2学年に41単位以上を履修すること。

注2:自由選択科目には長期休暇中などに実施されるものもある。

注3:外国語検定対策以外の自由選択科目は、1年次または2年次のいずれかで履修すること。